

緑の相談所だより

{ 4. 5月号 1993. 4. 1 発行 編集：旭川市緑の相談所 }

物事が新しく動き出す4月、木々や草花も咲き競う5月。暖かな日差しを背に土と親しむ季節となりました。今年度も講座をいろいろと用意いたしました。みなさまのおいでをお待ちしております。

講習会のご案内

★春の庭仕事

日時 平成5年4月11日(日)
午後1～3時
講師 旭川市緑の相談所相談員
小島博昭
定員 60名

★シクラメン、ポインセチヤの夏越し

日時 平成5年4月25日(日)
午後1～3時
講師 旭川市緑の相談所相談員
村田正一
定員 50名

★洋らんの育て方(春から夏にむけて)

日時 平成5年5月9日(日)
午後1～3時
講師 旭川洋らん会幹事
笠原幸三氏
内容 シンビジウム、デンドロビウム
カトレア、ファレノプシスその他
定員 50名

★クンシランの植え方と分け

日時 平成5年5月23日(日)
午後1～3時
講師 旭川市緑の相談所相談員
村田正一
定員 50名

※ 交通の便 ※

旭川電軌軌道バス 82番
南高行き(上川神社経由)
<旭川駅前アサヒビル前発>
上川神社前下車
徒歩2分

いずれも 参加料 無料
お申し込み・お問い合わせ
旭川市緑の相談所(神楽岡公園内)
☎65-5553



季節の花ことば

もくれん・・・自然への愛

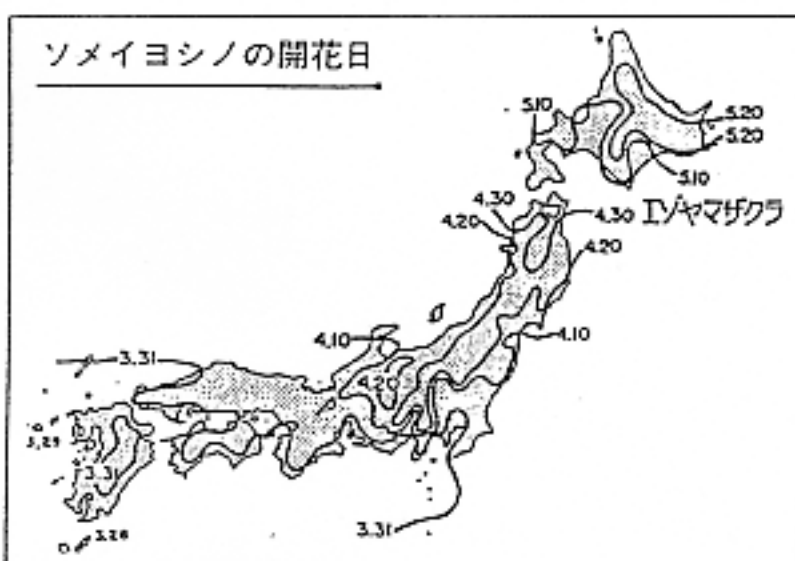
マグノリアという語感のほうが似合う花です。
蕾の先が少し曲がって必ず北の方を指すといわれているので、一度注意してみてくださいはいかがでしょうか。

“自然への愛”という花ことばは、こぶし、泰山木、朴の木などを含むマグノリア属全体に与えられたものです。

-花語「花ことばファンタジー」より-



桜前線



桜の開花日の同じ場所を、地図上に結んだ線を天気図の前線にならって「桜前線」と呼んでいます。その平年値は図のようになっています。

(ただし北海道では札幌や道南地方以外ではエゾヤマザクラやチシマザクラを対象としています。)

ここ神楽岡公園にもエゾヤマザクラが200本余り有りますので、散策に、お花見に足をはこんでみてはいかがでしょうか。

主な地点の桜の開花日

地点	平年値	最早	最晩
東京	3月30日	3月20日	4月11日
仙台	4・14	4・4	4・28
函館	5・5	4・26	5・23
札幌	5・5	4・26	5・14
旭川	5・9	4・27	5・16
網走	5・12	5・3	5・24
稚内	5・16	5・3	5・25
稚路	5・20	5・7	5・30

(注) 最早(晩) = もっとも早い(遅い) 開花日



エゾヤマザクラ

節権方 コンニャク

コンニャクイモはインド、セイロン原産のサトイモ科の植物です。昔から砂払いと呼んで腸をきれいにする作用の知られていたコンニャクはその97%は水分で、残りがグル

ルコマンナンといわれる食物繊維で、これが腸を刺激して便通を促したり、またコレステロールを吸収する作用があるのです。

◎コンニャクの常食は肥満防止、糖尿病、便秘、去痰に効果的

◎胆石や尿管結石などで激しい腹痛があるときや、生理痛がひどいときにはコンニャクの温湿布を。

健康雑誌「節権方」

健康雑誌「おの森」より

4月の気象と植物

一日の平均気温が5度以上になると、それまで休眠していた植物たちは活動を始めます。平均気温が5度に達した時を早春前線とよんで植物の活動の目安としています。その年によって1週間くらいの違いがありますが、旭川では4月中旬ころです。

早春前線が通過すると庭ではいち早くフクジュソウやクロッカスなどが開花してきます。

4月下旬から5月上旬になると神楽岡公園や旭山公園、嵐山などにはコブシの白い花が咲き、カツラの花と芽吹きが紫紅色の雲がたなびいたように見えます。日当たりのいい地面にはエゾエンゴサクの群落が青い花を一面に咲かせます。

神楽橋から上川神社鳥居までの道路左側の斜面を見てください。カツラとエゾエンゴサクの花が目を楽しませてくれます。緑の相談所を訪れたあと、グランドに回ってみましょう。まだ枯れ木の森ですがコブシの白い花が梢に鮮やかに見ることが出来ます。天気の良い日を見て散策することをお勧めします。

■ エゾエンゴサク

新芽が伸びているので週1回の液肥を続けます。油粕、骨粉の玉肥を月始めに4~5個、置き肥してください。水も乾き切らないうちにたっぷり与えます。外にはまだ出せません。日光によく当ててください。

■ コブシ

暖かい所でレースのカーテン越しの日光に当ててください。新葉が伸びてきたり、根の先が緑色になると生長が始まったので、週1回、薄めの液肥を施してやりましょう。

5月の園芸作業

まずエゾムラサキツツジが庭をいそいそと続いてサクラの季節を迎えます。植物の活動は目に見えてきますが今月は気温の変動が大きく、暖かい日があるかと思えば雪がちらつくほど寒くなる日もあります。中旬すぎまでは霜のおそれもありますから低温に弱いものは注意しましょう。

■ 球根植物の天敵の予防

茎に虫が食いこんでひどい被害を受けることがあります。新芽が伸び始めたらずぐにオルトラン、ピニフェート、カルホス、アクテリックなどいずれかの乳剤を4~5日おきに3~4回かけてやりましょう。噴霧器がなければじょうろでかけてもいいです。

■ 春咲き球根に肥料を

チューリップ、スイセン、ヒヤシンス、クロッカスなどの球根を太らせるために、花が咲いている時から肥料を施します。油粕と骨粉を等量まぜて地表にまきます。同時に草木灰もまいてカリ分を補います。

上記の代わりに磷酸分の多い化成肥料をまいてもよろしいです。

花が傷んだら種を付けないよう花首から折り取っておきましょう。

花にまだ模様が入ったらウイルス病にかかっています。伝染しますからすぐ引き抜いて焼き捨ててください。

■ 日焼けに注意

暖かくなると室内の鉢物を外に出しますが、いきなり直射日光に当てると必ず日焼けを起こします。まず明るい日陰に置き、1週間くらいかけて徐々に日に当てる時間を伸ばしてならします。最初に出すときは小雨か曇りの日がいいものです。

外に出すと鉢もよく乾きますから水やりも気をつけましょう。

つつじ類のこれからの管理（4月～6月）

雪どけがすすみほとんどの庭木類が姿をみせる時期です。

庭木類の越冬中には、さまざまな現象がおきているものです。

雪が解けて姿を見せた時点で、その病状を的確に判断し病状にあった処置をすることです。その方法には次のことが考えられます。

1-冬囲いの取りはずし

雪が解けはじめたら冬囲いの取りはずしをはじめ、雪圧による曲がりや、雪折れの危険性のあるものは雪を掘り除くことが大切です。

2-障害木の処置

雪による枝折れ、枝抜け、幹折れなどの損傷木は折れた部分が乾かないうちに元に戻し、ビニールテープ等で固定しておきます。出来るだけ早い時期に処置することが大切です。

3-薬剤による防除

春さきの防除は石灰硫黄合剤が主となりますが、散布時に液がしたたり落ちるような散布はさけるようにします。

4-肥料

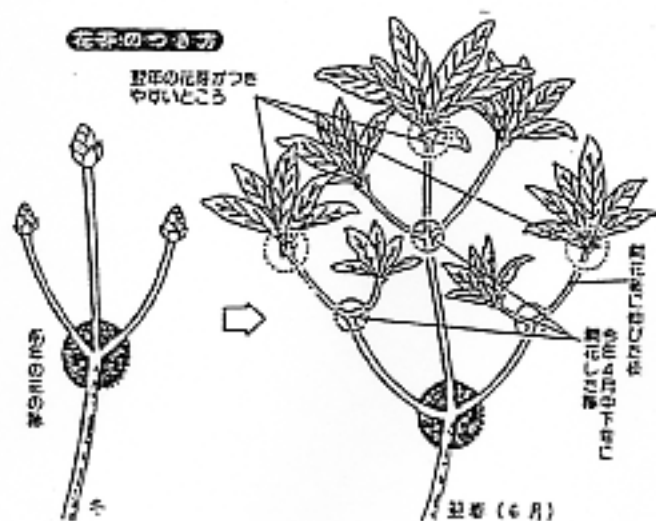
雪が解けてから根の回りに有機質肥料（堆肥、醗酵させた油粕、鶏糞、骨粉など）をあてますが、化学肥料を併用すると肥効は早まります。

5-花がらつみ

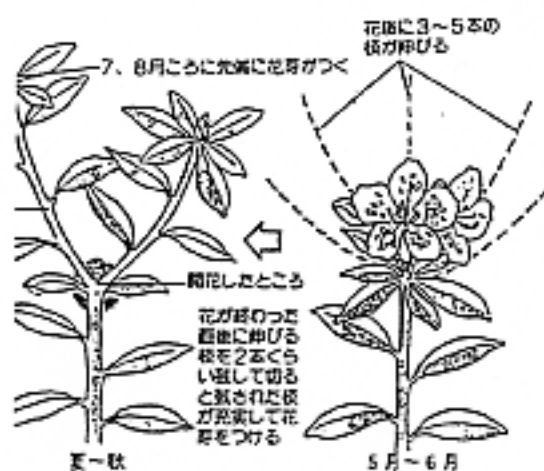
種子を必要とする以外は花が終りかけたら残さず摘みとります。

6-剪定

エゾムラサキツツジ、ヤマツツジ（エリモ、エサン、ヒロオ）ムラサキヤシオツツジなどは萌芽力が強いので、花が終わってから6月上旬くらいまでに1～2回程度おこないます。レンゲツツジは萌芽力が弱いので出来るだけ剪定はひかえ、ふところ枝の間引き剪定程度でとめます。



レンゲツツジ



エゾムラサキツツジ